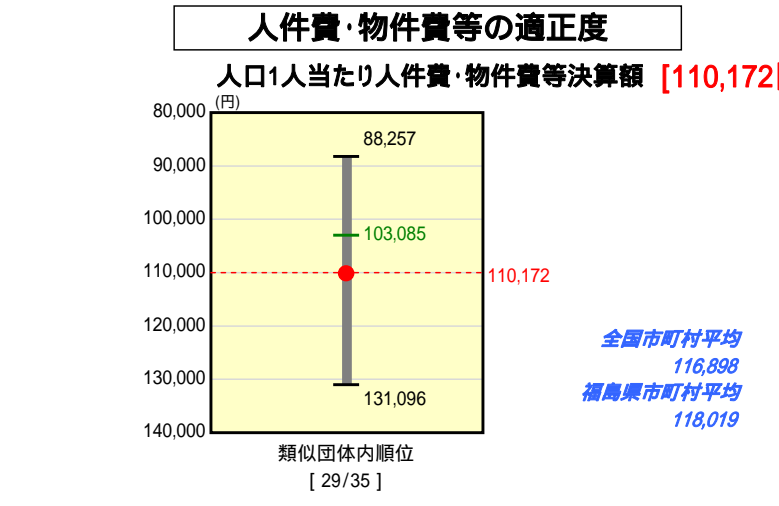
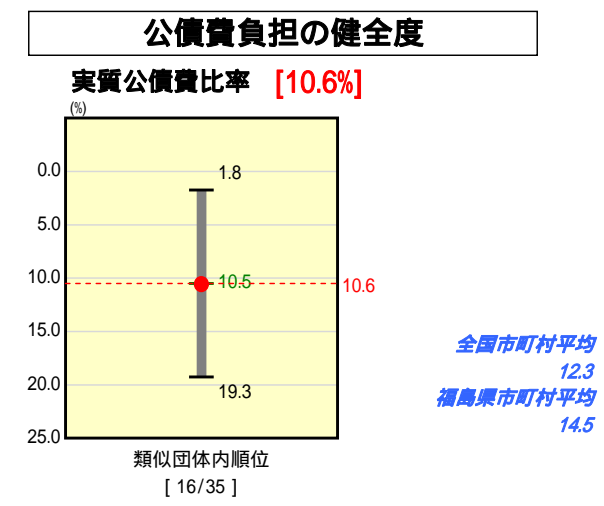
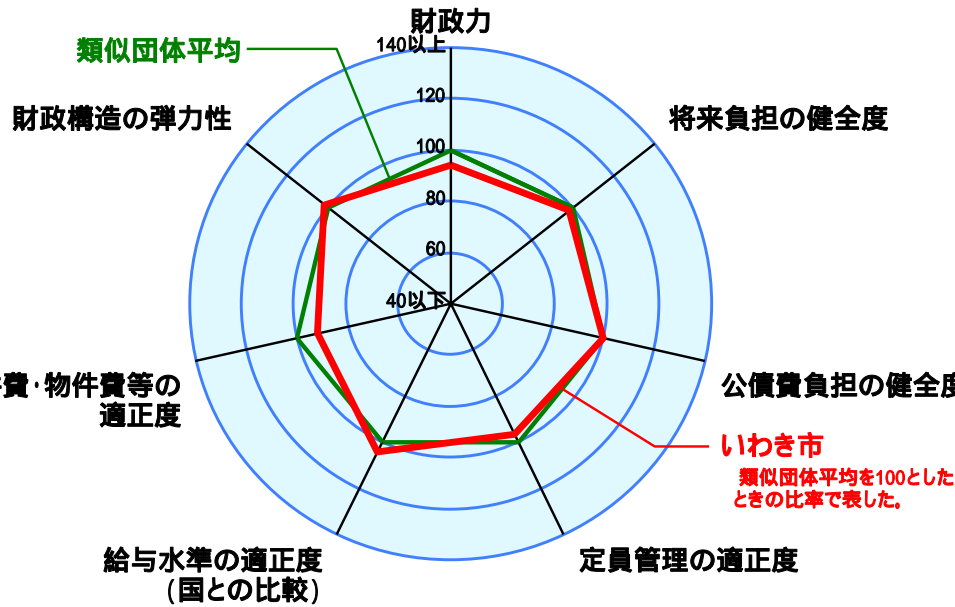
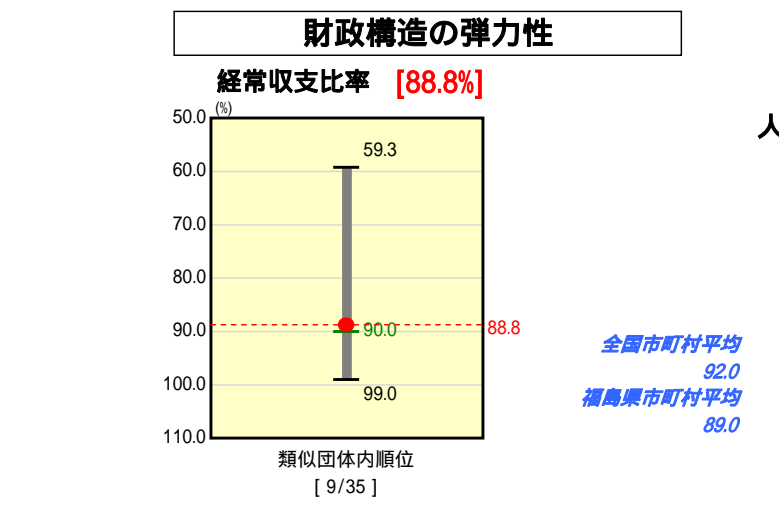
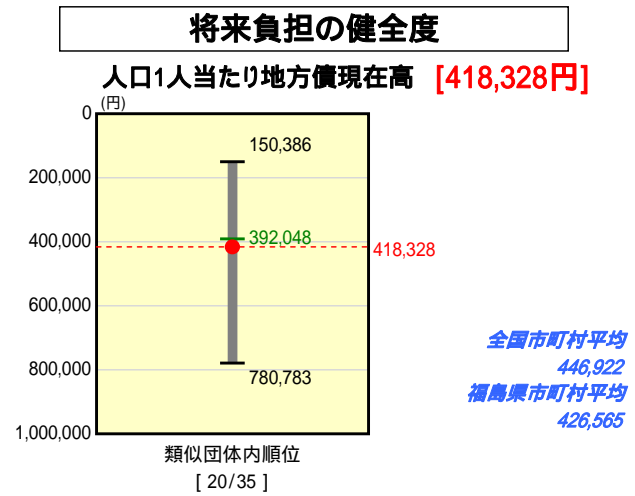
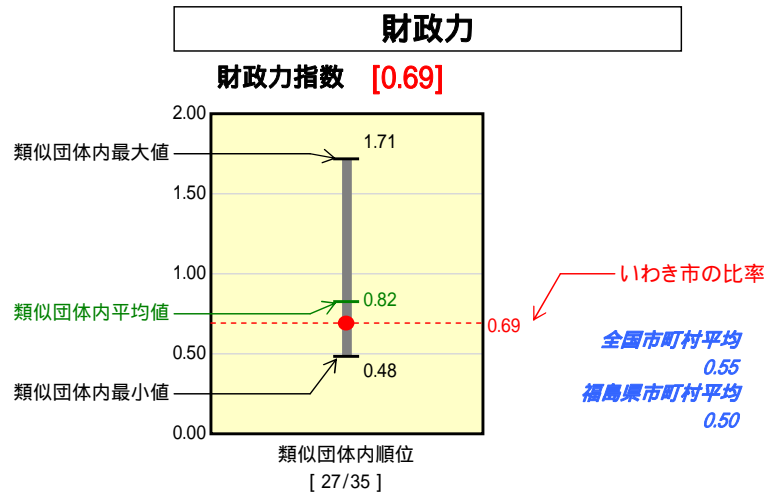


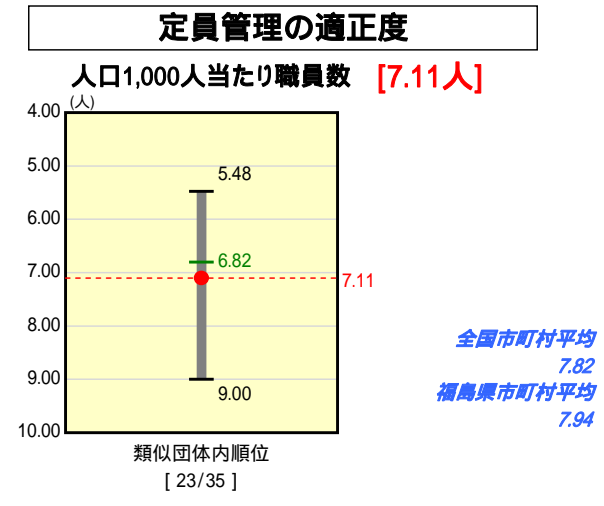
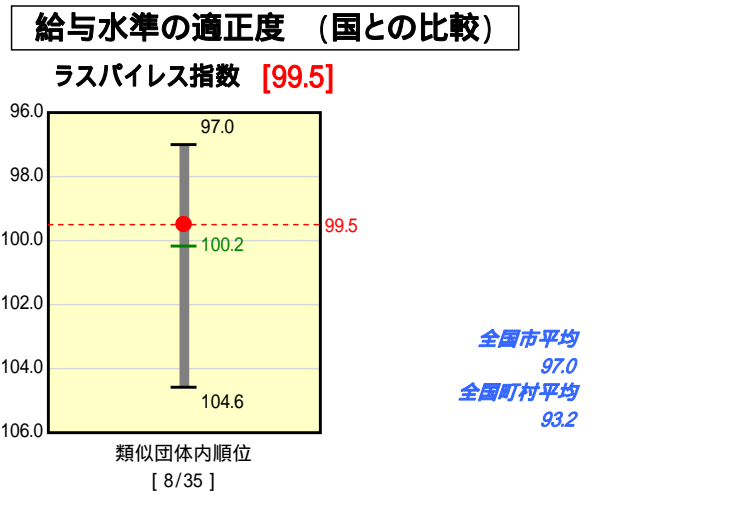
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 福島県 いわき市

人口	354,364	人(H20.3.31現在)
面積	1,231.34	km <sup>2</sup>
歳入総額	128,134,538	千円
歳出総額	126,122,536	千円
実質収支	1,516,282	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



### 分析欄

**財政力指数**  
基準財政収入額が類似団体の水準を下回るため、財政力指数は類似団体を下回る水準となっているが、前年度比では0.01ポイント上昇し0.69となっている。  
**経常収支比率**  
類似団体平均とほぼ同水準となっているものの、公債費及び扶助費の増などから平成18年度の87.0%に対して1.8ポイント増の88.8%となっている。今後は、第3次定員適正化計画(H18年度～H22年度)に基づいた人件費の削減に引き続き取り組むとともに、中期財政計画に掲げる市債発行額の総量管理に基づいて公債費の圧縮に努め、財政の弾力性確保に取り組む。  
**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
広域かつ多核的な本市の特性から出先機関や施設数が多く、類似団体平均を上回る水準であるが、第5次いわき市行政改革大綱に基づき効率的な行政運営体制の確立に取り組むとともに、第3次定員適正化計画(H18年度～H22年度)に基づいた人件費の削減に引き続き取り組む。  
**ラスパイルズ指数**  
地域別給与を導入するなど給与制度の適正化に努めてきており、類似団体平均を下回っている。今後とも、人事院勸

告等を踏まえた見直しを適宜行い、適正な水準の維持に努める。  
**人口1人当たり地方債現在高**  
普通交付税の減などに対応するため行政改革推進債を発行したこと、また、団塊世代の大量退職に対応するために退職手当債を活用したことなどから、類似団体平均を上回る水準にある。今後は、中期財政計画において掲げている平成22年度末時点の市債残高を平成17年度末時点以下とする数値目標の達成に努める。  
**実質公債費比率**  
大型投資事業の適切な取捨選択の結果、類似団体とほぼ同水準となっているが、公債費負担については増加傾向にある。今後は、中期財政計画(H18年度～H22年度)に基づいた市債発行額の総量管理を行い、公債費負担についても適正な水準を維持する。  
**人口1,000人当たり職員数**  
広域かつ多核的な本市の特性から出先機関や施設数が多く、類似団体平均を上回る水準である。今後は、第3次いわき市定員適正化計画(H18年度～H22年度)に基づき、5ヵ年で職員数を10%程度削減するとともに、施設管理の外部委託を進め、職員数の適正化に努める。